

巻頭言 / そこが知りたい

波紋広がる / 衝撃の早大発「不動産版Google」

FDJ社では、2007年7月13日(金)付、「日経産業新聞」が1面囲みで掲載した「マンション情報50万件 / 早大とチームラボ 一覧表示サイト 地図上に物件 / 希望条件で検索」という衝撃的な記事を受けて、その快適パフォーマンスから「不動産版Google」と呼ばれ始めている早大発「不動産公開取引所実験システム」(早稲田大学・大学院 / 川口有一郎教授の研究科学生が運営)の紹介と検証に、この間全力をあげてきました。

「不動産公開取引所実験システム」<http://www.ejuutaku.org/>

(現在、メンテナンス中かもしれません)

ブログによる速報版だけでも、7月13日 = 不動産版Google / 早稲田大学から発展・実用化へ、14日 = 不動産版Google / みんな今何を検索している? [早稲田大学発]、16日 = Wikipediaに見る / 早大発「不動産版Google」の実像、16日 = 早大発『不動産版Google』で / FDJ社が緊急アンケートを実施、16日 = 不動産版Google [公開取引所] の波紋 / 7月16日(中間・総集編)、16日 = 早大発『不動産版Google』 / データ引用元とパフォーマンスを検証、17日 = 米国『Trulia』誕生物語と早大発『不動産版Google』への期待(Movie版あり) と8本に及んでいます。

そして、FDJ社では、〔不動産版Google / 早稲田大学から発展・実用化へ〕で〔不動産サイト・物件プレゼンテーションのアーキテクチャーに大革命がやってくる!〕という認識から、〔不動産版Googleの登場が、今後の不動産取引市場にどのような影響を与えるのか、あるいは実現に向けてどのようなシナリオが描けるのか〕について先進的は不動産業の皆様および関係者の皆様(67名様)に緊急でアンケート(7月15日に依頼メールを送信)をお願いし、面談も含めて13先(回答率: 13÷67 = 19.4%)から回答を頂き、その整理・編集を7月29日に終了。結果をご回答者の皆様にご案内させて頂くとともに、ご回答者の了解の下に〔FDJ社 Implication / 調査結果の社会への還元〕として、アンケート結果の一部(サマリー)を今号で紹介させて頂く次第です。

ところで、新しい流れが始まろうとしている時、パラダイムシフト(最適化への潮流)が大きければ大きいほど、エッジの切り出しとその紹介には誤認がないかどうかいつも不安なのですが、今回の先行には、アンケートの援軍(膨大な書き込み量なのに13人 = 19.4%の人から回答を頂いた)があったものの、それでもきついものがありました。

ところが、総合ユニコム『月刊プロパティマネジメント』2007年8月号の特集に、川口教授へのインタビューが載っている(8月1日に発見!)ではありませんか。

「不動産 + IT がもたらす新市場とビジネスモデル」

<http://www.sogo-unicom.co.jp/property/index.html>

『不動産業戦略e-REVIEW』としては、今号でまず事実を伝え、9月号で川口先生が大学院研究科の学生にインタビューさせて頂く予定でしたが、MPM誌の編集部から、サマリー掲載のご快諾を頂きましたので、まずは本誌10ページに掲載の記事をご覧頂けたら幸いです。「不動産公開検索所(ejuutaku.org)は、これからの時代の第一歩です。巷では、「不動産版Google」と呼ばれていますが、このネーミングを気に入っているわけではなく、むしろGoogleを超えたいと考えています」という川口先生からのメッセージは、凄いですよね。

おっと! 忘れるところでしたが、この8月(夏期特別)号で、Web2.0 / 大改革時代における航海術「これが、花開く不動産サイトの未来型アーキテクチャー = 経営哲学だ」を集めていますので、24~27ページをご覧ください。